

日本学術会議
安全保障と学術に関する検討委員会
(第23期・第9回)

平成29年2月4日

内閣府 日本学術会議事務局

日 時： 平成 29 年 2 月 4 日（土） 12：01～12：16

会 場： 日本学術会議 6 階 6－C（1）（2）（3）会議室

出 席 者： 杉田委員長、大政副委員長、佐藤幹事、小松幹事、井野瀬委員、森
委員、大西委員、岡委員、土井委員、安浦委員、花木委員、小森田
委員（12名）

欠 席 者： 向井委員、山極委員、小林委員（3名）

事 務 局： 小林企画課長、井上参事官、石井参事官、川名上席学術調査員、下
田上席学術調査員他

議 題： 1. 日本学術会議学術フォーラムについて

2. その他

資 料：（議題 1 関連）

資料 1 フォーラム配布資料

資料 2 <第Ⅲパート：総合討論>の進め方について

参考資料：参考資料 1 前回委員会議事録

参考資料 2 15 年戦争と日本の医学医療研究会（協力学術研究団
体）からの意見

参考資料 3 日本科学者会議（協力学術研究団体）からの意見

参考資料 4 史学委員会科学・技術の歴史的理論的社会的検討分科会
からの意見

午後0時01分 開会

○杉田委員長 定刻を過ぎましたので、安全保障と学術に関する検討委員会第9回を開催いたします。

本日の映像等の頭撮りは、冒頭の資料確認のところまでとさせていただきます。

なお、報道関係者、傍聴の方におかれましては、会議中は進行の妨げにならないよう静粛にお願いいたします。

なお、傍聴に関しましては、事務局の指示に従っていただきますようお願いいたします。

定足数でございますが、現在の時点で12名の委員でございますので、定足数を満たしております。

なお、本日はこの委員会後の学術フォーラムの登壇者にも御出席いただいておりますので、御紹介いたします。

お1人目が、日本学術会議第一部会員、立命館大学教授の兵藤友博先生です。どうもありがとうございます。

お2人目が、日本学術会議第三部会員、東京大学教授の須藤靖先生です。

お3人目が、日本学術会議連携会員、明治大学教授の佐野正博先生でございます。

今、御到着されたばかりで恐縮ですが、日本学術会議連携会員、財団法人先端医療振興財団のセンター長、福島雅典先生でございます。

それから、公益財団法人未来工学研究所、研究参与の西山淳一先生でございます。

なおもうお一方の登壇者、根本清樹朝日新聞社論説主幹につきましては、委員会には御出席いただけないということですが、後ほどフォーラムで御登壇いただきます。

また、委員以外の委員会参加に関連いたしまして、今後、本検討委員会におきまして意思の表出を行う場合に、科学と社会委員会において査読の担当委員を中心に査読いただくことになります関係で、この担当委員が委員会の経緯、状況を把握するため委員会やフォーラム等にオブザーバーとして出席することは、規程上、保障されておりますので、本委員会に関しましては、査読担当委員の判断によりオブザーバーとして出席することがありますので、その点、御承知おきください。

配布資料について確認させていただきます。

配布資料は、お手元の議事次第に書いてあります。

資料1、資料2は議題1に関する資料です。参考資料1は既にメールで照会し、承認済みの議事録であり、ウェブにも掲載済みでございます。

これにつきまして、この際、何か発言等で訂正すべき点がありましたらお申し出いただきたいと思ひます。

私から1点、発言させていただきます。

参考資料1、議事録11ページで、前回資料1「中間とりまとめに向けて」の説明の中で、「非核三原則」と資料に記述しているところを私から「原子力三原則」というふうに関言いたしましたが、この発言を撤回し、「非核三原則」の表現が正しいということで、そのようにさせていただきます。

お認めいただけますでしょうか。

(異議なし)

○杉田委員長 では、そのようにさせていただきます。

それから、12月16日の第7回委員会におきまして御説明いただきました鈴木達治郎先生より、前回委員会の後に議事録の一部修正の御連絡がありました。私の方で確認し、修正を反映した議事録をホームページにも掲載いたしましたので、御報告させていただきます。

それから、参考資料2でございますが、日本学術会議協力学術研究団体である15年戦争と日本の医学医療研究会からの御意見、参考資料3は、協力学術研究団体であります日本科学者会議からの御意見、参考資料4は、史学委員会科学・技術の歴史的理論的社会的検討分科会からの御意見でございます。

その他に、委員には机上資料として報道等の資料を参考として配布させていただいております。

以上の資料に関しまして、不足がある方はお申し出ください。

では、映像等の頭撮りはここまでとなりますので、御協力をお願いいたします。

なお、前回委員会におきまして、防衛装備庁からの公文に関しまして意見交換を行いました。その結果として、安全保障技術研究推進制度にかかわる公募要領等において防衛装備庁が明記することとした3点につき、防衛装備庁において個々の要領等を変更した段階で、具体的変更箇所を日本学術会議事務局に連絡するように依頼いたしました。これに対しまして、昨日2月3日に防衛装備庁より、委託契約事務処理要領を公表したとの御連絡がありましたので、御報告いたします。

今回公表されたものは事務処理要領でありまして、私どもの委員会における議論では、さまざまな書類の間の関係、移動が問題となっておりますので、今回の変更に関しましても、契約書等その他の資料が揃った段階で改めて議論させていただきたいと思っております。よろしく

お願いいたします。

それでは、議題1に入らせていただきます。

議題1、日本学術会議学術フォーラムということで、本日開催いたします日本学術会議フォーラムの進め方でございます。既にお諮りし、公表しておるものでございますけれども、念のため確認させていただきたいと思っております。

私から議事進行について御説明いたしますので、もしも各委員あるいは登壇者より確認事項、御質問等があればお願いいたします。

まず、本フォーラムにおける配布資料でございますけれども、資料1のとおり、このプログラムでございます。そして2つ目が、中間とりまとめの最終版でございます。それから、本委員会の設置提案書と設置要綱でございます。そして委員名簿、そして本委員会の審議状況をお示しするため、ホームページのコピーをつけました。それから、登壇者からいただきました各配布資料でございます。根本先生からは、特に資料はいただいておりません。

以上が配布資料でございます。

学術フォーラムの進行でございますが、資料1、1枚目の当日プログラムのとおり、大西会長の挨拶後、3つのパートに分けて行うということでございます。

第1パートは委員会中間とりまとめの状況報告で、私から審議経過について御報告させていただきます。

第2パート、日本学術会議の内外の意見につきましては、小松委員の進行で、15分ずつ6名の登壇者の方々から御意見をいただく予定でございます。発表時間は厳守させていただきますようお願いいたします。

第3パート、総合討論におきましては、私の進行でフロアの学術フォーラム参加者と、検討委員会委員との質疑応答、意見交換を行いたいと思っております。

なお、第3パートの進め方につきまして、資料2にまとめましたけれども、フロアの学術フォーラム参加者から発言される方を募りまして、私から指名いたします。その発言の内容についてはどのようにお答えするのかということで、私の方で必要に応じて関係する委員の方を指名することがございますので、その場合、指名された委員におかれましては御回答をお願いできればと思います。

その場合、非常に短い、例えば「そうです」とか「そうではありません」といった短い御回答であれば、その場にマイクがございますのでそれで答えていただければと思いますが、もう少し詳細にわたる回答の場合には、登壇していただき、御発言いただくこととなりますので、

よろしく願いいたします。

なお、フロアから多く御意見を頂戴する機会ですので、できるだけ簡潔なお答えをいただければと思っております。

以上が進行に関する素案でございますが、何か御質問、御意見等ございますでしょうか。

○兵藤先生 瑣末なことですけれども、報道関係者あるいはスマートフォン等ありますね。別にカメラ等映るのはいいんですけれども、フラッシュだとかそういうことで、登壇しているときに一瞬前が光ってしまうと。その点ちょっと、あらかじめ御注意か何かしていただけると。多分そういう方はいらっしゃらないと思うんですけれども、念のためお願いしたいと思えます。

○杉田委員長 事務局、これは原案に入っていましたっけ。

○事務局（石井参事官） 注意事項としてお配りしている中には、フラッシュについては触れておりませんので、恐縮ですけれども、会場の進行に当たってつけ加えていただけますとありがたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○杉田委員長 それでは、恐縮ですが、総合司会の大政先生の方で一言お願いできますでしょうか。よろしく願いします。

他に何かございますでしょうか。

○小松幹事 写真撮影そのものはいいんですしたっけ。

○杉田委員長 写真撮影の可否ですか。これは……

○事務局（石井参事官） 原則としてもう公開で、写真撮影、取材を受けておりますので、他者の迷惑にならない範囲で、報道の場合は撮影のエリア、それから自席において周りの邪魔にならない形での撮影はお認めする形で御案内しております。

○杉田委員長 他に何かございますでしょうか。

それでは、進行につきましては適宜適切に対応してまいりたいと思えます。

議題2に入らせていただきます。

議題2、その他でございますが、メールの回覧状況の公開についてお諮りいたします。

1月16日の検討委員会の資料1「中間とりまとめに向けて」につきましては、検討委員会の前に案を回覧いたしまして、それに対して寄せられた意見を反映したものでございます。また、「中間とりまとめ」につきましては、1月16日の検討委員会の後に検討委員会での意見を反映した案を回覧し、その後、寄せられた御意見を反映し「中間とりまとめ」といたしました。この間、委員間におきましてメール等で文書において意見をやりとりいたしました。こ

の部分につきましてはこれまで資料となっていない部分がございますが、これにつきまして、委員会審議の透明性を高めるため、個人情報、私信の部分を削除した形で事務局において整理しまして、次回2月15日委員会において会議資料として公開したいと考えますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○杉田委員長 特に御異議ございませんようですので、そうさせていただきます。

今回机上配布につきまして、先ほど申しおりましたが、一般の方からいただいた御意見も机上配布としております。

この机上配布としている意見の中で、このたび自衛官の大学等への入学の問題につきまして、これまでの運用について再考するべきではないか、つまり、私の仄聞するところでは一部の大学で自衛官については入学をさせないという運用をしているということございまして、これについて本委員会において検討すべきだという趣旨の御意見が届きましたけれども、本委員会の検討対象は軍事的安全保障技術にかかわる研究の問題でありまして、大学における教育、自衛官が大学で教育を受けること自体につきましては検討対象には含まれないのではないかとということで、これ自体は重要な問題でございますけれども、本委員会の検討対象とはしないという方針を確認したいと思いますけれども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○杉田委員長 それでは、そうさせていただきます。

その他、何か御意見あるいは御質問等ございますでしょうか。

それでは、時間が少し短目ではございますが、この後の準備もございますので。

この後、学術会議1階講堂にて学術フォーラムが開催されますので、御参加いただきまして御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、念のため、次回開催について申し上げます。

2月15日水曜日、13時から15時、その次が3月7日火曜日、14時から17時となっております。御確認いただければと思います。

それでは、他にないようでしたら本日の会議はこれで終了とさせていただきます。

御多用のところありがとうございました。

午後0時16分 閉会